

日本共産党品川区議会議員

菊地貞二

10年6月20日発行

消費税増税 大合唱のなかで中小企業は・・・

「もう限界だ」と廃業あいつぐ

区民のくらしも営業も「もう限界」というなかで、民主党は消費税増税の論議を進めることを明らかにしました。一方で、年間7兆円に及ぶ大企業・大資産家減税をさらに拡大しようとしています。

中小業者の生活実態は……

**「具合が悪くても病院にさえいけない」
区長は消費税増税に反対の声を・・・**

日本経団連の、「豊か
で活力ある国民生活
を目指して」経団連
成長戦略 2010」
なる提言には、「消費

という身勝手な要求が、
あからさまに述べられ

ているのが、日本経団
連の「成長戦略」です。

消費税廃止を望む声は70%

りました。

売り上げは？



08年の売り上げは、

「07年と比べて3割減」

が37・9%とトップで、

「横ばい」29・5%、

「半数以下」22%。

「伸びた」人はわずか

9%でした。原因は、

仕入れや経費の上昇、

工賃単価の切り下げ、

仕事量が3割減、半減

など。月の仕事は10日

未満が16・2%でした。

所得は？

08年の所得は、100万

円未満が最も多く22・

9%。100万〜200万円未

税の税率の早期引き上
げ」が明記され、「11
年度から速やかに、消
費税率を少なくとも10
%まで引き上げ」と
書かれています。同時
に、「法人実効税率の
早期引き下げ」が明記
され、「成長戦略の必
須の柱」として法人実
効税率を、早期に10%
引き下げると書かれて
います。大企業減税の
穴埋めに消費税増税と

消費税を価格に転嫁
できない中小企業の営
業は深刻です。

「家業の営業収入だ
けで生活できない人は
6割を超え、所得が200
万円未満の人が4割。

貯金の取り崩しや家族
のほかの収入、年金な
どをあてて生活してい

る」——全国商工団体連
合会が行った調査で、
厳しい生活実態が分か



満21・3%の順番。所得200万円以下の人が44・2%となっています。

利益は？

08年に利益が出た人はわずか10・5%、「赤字」だった人は51・2%と半数を超えました。「家業の営業収入だけで生活できない」人は61・5%。貯金を取り崩す、年金や家族の他の収入をあてて、借金、生命保険の解約などで、収入を補っています。パートやアルバイトに出ている人が



20%にのぼっています。こうした状況下で消費税を売り上げに転嫁できているのは44・6%。消費税廃止を望む人は70%にのぼりました。

病院にもいけない実態の改善を

業者婦人は、営業と家業・介護・育児の担い手として、みずからの健康状態をかえりみず働いています。体の具合が「悪い・ときどき悪い」人が3人に2

人の割合。具合が悪いのに、「時間がない」、「治療費が高い」など40%にのぼりました。理由で病院に行けなかった体験がある人が

大企業・大資産家優遇 税制の理不尽さ

申告納税者の所得税の負担率をみると、驚くことに所得1億円を超えると、所得税の負担率が下がってくるのです。累進どころか、逆進そのものです。なぜ下がるかといえば、所得税の最高税率を引き下げてきたうえに、株や土地の売買によるもうけが分離課税とされ、証券優遇税制によつて株の売買にかかる税金はわずか10%の軽減率が続いている。そういう要素があわさつて、大金持ちほど税負担率が下がっていく。これは誰かから見ても、不公平税制の極みです。「証券優遇税制」を見直す、総合課税にする、所得税の最高税率を引き上げるなどは、待たなしの課題となっています。こうした優遇税制は拡大しながら財源が足りないとして消費税増税の大合唱は許せません。



無料法律相談会 (生活相談は随時)

とところ すずらん通り事務所

日時 7月16日 (金)

午後6時～8時



前日まで15742-6818までお電話を下さい。